

米国・スタンフォード大学のプログラムに参加

課外活動団体「Horizon」

本学の課外活動団体「Horizon」が、米国スタンフォード大学のUniversity Innovation Fellowsプログラムに参加した。このプログラムは、2012年に始まったスタンフォード大学デザイン学部Hasso Plattner Institute of Design (d.school)が提供するもので、各年度に1つの大学から4人まで参加が可能。毎年世界各国から多くの学生が参加しているが、日本の大学から参加するのはHorizonが初となった。

学生が大学でのよい影響が続いている。しかしながら今年度は、海外大学との授業同士の連携やオンライン留学など、渡航以外の新たなグローバルな学びの機会も広がった。

交換留学では、受入派遣の合計約30人の学生がオンライン留学を経験したほか、長期休暇中に実施される海外短期プログラムでは、複数のコースがオンラインで実施され、約40人の学生が参加した。

また、海外の大学との協働学習を行うCOILも、20科目以上で実施され、500人以上の学生が受講した。

2月18日には新たな学びの特徴を知る機会として、オンラインでの留学



ミーティングの様子

2020年度国際交流プログラム

オンラインで新たな経験の機会が広がる

学生とのトークセッションを開催

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行継続により、渡航留学は21年度春学期までの中止が決定するなど、本学の海外留学プログラムへの大きな影響が続いている。

しかしながら今年度は、海外大学との授業同士の連携やオンライン留学など、渡航以外の新たなグローバルな学びの機会も広がった。

交換留学では、受入派遣の合計約30人の学生がオンライン留学を経験したほか、長期休暇中に実施される海外短期プログラムでは、複数のコースがオンラインで実施され、約40人の学生が参加した。

また、海外の大学との協働学習を行うCOILも、20科目以上で実施され、500人以上の学生が受講した。

2月18日には新たな学びの特徴を知る機会として、オンラインでの留学

うにイノベーションを起すことができるのか、そのために必要な思考や論理の学びを支援するプログラムで、昨年8月31日から6週間にわたり、オンラインで行われた。

授業終了後、学生は所属大学において、プログラムで学んだ内容を活用し、アクションを起こすことが求められる。実際に取り組んだプロジェクトと、そこで得た成果をスタンフォード大学に報告すると、通常であれば社会的、環境的な視点から、国内外のさまざまな社会問題への関心を高め、それら諸問題への実行可能な解決策を模索することを目的に活動している。

このプログラムに参加した4人の学生のうちの一人、吉澤眺帆さん(法2)は、「プログラムで学んだ思考を用い、解決方法をチームメイトと協力しながら作り出すことに大きな達成感を得ることができた。社会の枠組みにとらわれず、全ての若い世代が、本当に自分が見たいと思ったことを自由に追求できるような社会づくりに貢献したい」と話している。

新規海外協定校紹介⑥

ブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ)は、昨年12月、新規に協定した4人の学生のうちの一人、吉澤眺帆さん(法2)は、「プログラムで学んだ思考を用い、解決方法をチームメイトと協力しながら作り出すことに大きな達成感を得ることができた。社会の枠組みにとらわれず、全ての若い世代が、本当に自分が見たいと思ったことを自由に追求できるような社会づくりに貢献したい」と話している。

9学部7研究施設を有するダルサラーム大学を締結したブルネイ・ダルサラーム大学(Uive Siti Brunel Darussalam)は、1985年に首都バンダルスリブガワに創設された同国最大の国立総合大学。

総長は国王が務めており、同国の教育と研究の中心的役割を担っている。学生数約5000人で、人文系から理工学系まで幅広い分野の9学部まで幅広い分野の9学部7研究施設を有する。授業は英語が中心だが、マレー語の授業も開講している。

本学にとってはブルネイで初めての交換留学協定校である。



カルル4世によって創立されたカレル大学

今年1月にカレル大学(Charles University)の芸術人文学部(Faculty of Arts)と新規に交換留学協定を締結した。同大学は1348年に神聖ローマ皇帝カール4世によって創立された中で、最も歴史の古い大学で、プラハに所在する同国の最高学府である。

学生数約5万人の大規模な総合大学で、芸術人文学のほかに、教育学、法学、理工学、医学など

今回の交換留学の対象となる芸術人文学部の中には、芸術学をはじめ、哲学、史学、考古学、心発の英語圏派遣先として理学、社会学などの多様な専攻があり、学生は幅広く授業を選択できる。

22年度以降、秋学期出陣の英語圏派遣先として募集予定。

今年1月にカレル大学(Charles University)の芸術人文学部(Faculty of Arts)と新規に交換留学協定を締結した。同大学は1348年に神聖ローマ皇帝カール4世によって創立された中で、最も歴史の古い大学で、プラハに所在する同国の最高学府である。

学生数約5万人の大規模な総合大学で、芸術人文学のほかに、教育学、法学、理工学、医学など

オンライン講演会

Ankerの挑戦：デジタル時代の新しいメーカー像

1月29日、経済学部が主催し「Ankerの挑戦：デジタル時代の新しいメーカー像」と題したオンライン講演会を開催された。本学学生ほか、高校生ら約70人が参加した。

アンカー・ジャパン株式会社代表取締役の井戸義経氏と、同社取締役C O Oの猿渡歩氏が登壇し、同社の経営戦略についてプレゼンテーションを行った。

続いて猿渡氏が登壇。「プロサッカーチームとオンライン講演会が開催や、地方自治体との防災協定締結などを通して、ブランドの認知度や信用力を高められるよう長期的なマーケティング戦略にも注力している」と同社のブランディングの取り組みについて解説した。

コーディネーターを務めた経営学科の網倉久永教授は、「学生が、実務の第一線で活躍している経営者の『生の声』を直接聞けることも貴重な機会だった。多忙なトップお二人にそろってご登壇いただいたのは、オンライン開催だからその利点であった」と振り返った。

海外短期語学講座体験談(カリフォルニア大学デービス校)

竹ヶ原 将(法地2)



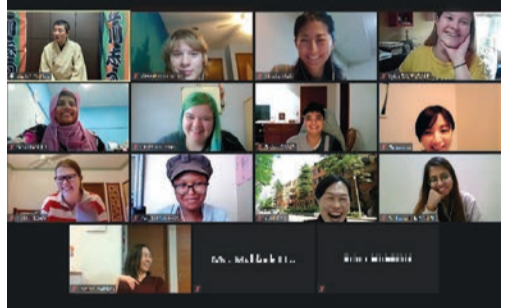
現在カリフォルニア大学デービス校で開催されている、オンラインの海外短期語学講座に参加しています。このプログラムでは英語のほかにSDGsやアメリカの文化などについて学ぶことができます。カリキュラムとあって、このプログラムに参加して、オンラインの形でも刺激的な日々を送ることができることを実感しています。SDGsやコロナ禍におけるアメリカの現状など、とても大変ではありますが、やりがいがあります。

また通常の授業の他に、コロナ禍後のキャリアにおいて必要とされるスキルや、代替エネルギーに関する特別授業などもありました。

オンラインですと移動時間などがからないうえ、空いた時間も無駄にせず、課題の勉強に充てることも可能です。

海外学生向けプログラム January Session in Japanese Studies 初のオンラインで開催

1月8日から29日の間、海外学生向けプログラム January Session in Japanese Studiesを実施した。このプログラムは、例年同時期に学内で開講しているが、今回初めてオンラインで行なわれた。日本の文化、



立川志の春氏による英語落語イベント

立川志の春氏による英語落語イベント。同様に海外の学生向けに開講する Summer Session in East Asian Studiesについても、6月14日から7月1日の間、オンラインにて実施予定である。



本学学生や高校生など70人が参加した